

# 2022年度事業報告

2022年4月1日～2023年3月31日

## 1 概況

2022年度の事業計画に基づき、健全な納税者団体としての質的向上を図り、企業経営の健全な発展と申告納税制度の成果をあげることがを目標に総合的な事業運営や社会貢献活動を推進していくことができた。事業及び会議等の実施内容は以下のとおりである。

## 2 事業

### ①税知識の普及を目的とする事業

#### (1)新設法人説明会

八女税務署管内に新たに設立された法人及びこれから起業しようとする人を対象に、関係する国税及び地方税の基本的な税制の仕組みについて正しく理解してもらうことを目的として、2月13日に八女商工会館で開催した。講師は八女税務署法人課税部門統括国税調査官の古賀猛氏と上席国税調査官の東真樹子氏に依頼した。

#### (2)決算税務研修会

適正な申告書が作成され提出されるようにすることを目的として、3月23日に八女商工会館で開催した。講師は八女税務署法人課税部門統括国税調査官の古賀猛氏と上席国税調査官の東真樹子氏に依頼した。

#### (3)税制改正説明会

改正法に則った誤りのない税務処理が行われるようにすることを目的として8月26日に八女商工会館で開催した。講師は八女税務署法人課税部門統括国税調査官の古賀猛氏と上席国税調査官の東真樹子氏に依頼した。

#### (4)決算実務セミナー

適正な法人税及び消費税の申告が行われることを目的として、インボイス制度セミナーを11月8日に八女商工会館で開催した。講師は税理士の中島祥貴氏に依頼した。

#### (5)全国青年の集い

税制に関する調査研究や租税教室の実施に関して意見交換、情報交換を行い、公益事業に生かすことを目的として、11月24日と25日に沖縄県那覇市で開催された大会に青年部会正副部会長3名が参加した。

#### (6)租税教室

八女税務署管内に所在する小学校の6年生を対象に、近い将来において見識ある納税者として主体的に税との関わりを持つ人を育成することを目的として、青年部会の部会員が講師を務め、6月から1月にかけて10校11クラス467名の児童を対象に実施した。

#### (7)青年部会・女性部会税務研修会

税知識の普及を目的として、青年部会が10月21日に、女性部会が11月17日に、それぞれ矢部川城と八女商工会館で開催した。講師は青年部会、女性部会ともに八女税務署長の播磨武裕氏に依頼した。

#### (8)各種税務セミナー

消費税のインボイス制度を理解することを目的として、6月9日に八女商工会館で「インボイス制度セミナー」を開催した。講師は経営コンサルタントの林忠史氏に依頼した。

## ②税知識の高揚を目的とする事業

### (1)税に関する各種表彰活動

八女税務署管内の全中学校、高等学校の生徒を対象に、税に関する関心を高めることを目的として、租税教育推進協議会の一員として「税」をテーマにした作文を募集したところ中学校が609編、高等学校が722編の応募があった。表彰式は新型コロナウイルス感染症予防対策のため中止した。

八女税務署管内に所在する小学校3校の6年生を対象に、近い将来において見識ある納税者として主体的に税との関わりを持つ人を育成することを目的として、女性部会が6月から9月にかけて税に関する絵はがきコンクールを開催したところ73作品の応募があり、11月に表彰を行い、展示し、一般に公開した。

### (2)全国女性フォーラム

税制に関する調査研究や租税教室・絵はがきコンクールの実施に関して意見交換、情報交換を行い、公益事業に生かすことを目的として、4月14日に静岡市で開催された大会に女性部会の副部会長2名と理事1名が参加した。

### (3)成人式での税に関する小冊子の配布

八女税務署管内で開催される成人式会場にて、納税意識の高揚を図ることを目的として、新成人全員に税に関する小冊子850部を無償で配布した。

### (4)ホームページ及び広報誌による税情報の提供

税に対する関心を高めることを目的として、ホームページを随時更新するとともに、広報誌「矢部川だより」60号と61号を9月と3月に発行し、税に関する情報記事を掲載し、会員配布のみならず銀行等の公共機関に設置、配布した。また、各税務研修会開催案内を随時ホームページに掲載し、会員及び非会員の参加を呼びかけた。

### (5)図書配布による税情報の提供

公益財団法人全国法人会総連合発行の「ほうじん」（季刊誌）や税に関する図書を会員及び非会員に随時配布し、税情報の提供に努めた。ホームページで非会員への書籍頒布を周知している。

## ③税制の調査研究及び提言に関する事業

### (1)全国税制改正要望大会

税制に関する意見要望を税制委員会が中心となって取りまとめ、10月13日に千葉県千葉市で開催された全国税制改正要望大会に会長と税制委員長、税制副委員長が参加した。

### (2)税制改正の提言・要望活動

公益財団法人全国法人会総連合によってまとめられた税制改正要望書を、12月14日に税制委員が野田国義参議院議員と三田村統之八女市長、角田恵一八女市議会議長に提出し、税制・税務に関する提言を行うとともに、ホームページや広報誌を通じて一般に周知した。

## ④地域企業の健全な発展に貢献することを目的とする事業

### (1)新社会人マナーセミナー

新規採用された職員を対象に、社会人として必要な能力を身につけさせることを目的として、6月10日に八女商工会館で開催した。講師は社会労務士の久保京子氏に依頼した。

### (2)ビジネスコミュニケーション研修会

中堅社員として必要な能力を身につけさせることを目的として、10月に開催予定だったが、新型コロナウイルス感染症予防対策のために中止した。

(3) パソコン講座

日常業務に必要な入力作業をサポートする機能やデータのビジュアル化等の操作技術を身につけさせることを目的として、1月18日から2月15日の全5回でExcel入門講座を筑後市のパソコンスクールPCワークスで開催した。

(4) 簿記講座

簿記の知識を身につけ、経営力を高めることを目的として、八女商工会議所と共催で、八女商工会館で開催した。10月3日から11月14日の週3回全18回コースで、講師は福岡県立大牟田北高等学校教諭の猿渡満徳氏に依頼した。

日商簿記2級の商業簿記の知識を深めることを目的として、八女商工会館で開催した。11月22日から3月23日に全25回コースで開催した。講師は河野孝信氏に依頼した。

(5) フラワーアレンジメント講座

職場環境や生活環境の美化を目的として、12月27日に正月用の講座を八女商工会館で開催した。講師はグリーン八女の江淵康枝氏に依頼した。

職場環境や生活環境の美化を目的として、3月8日に春の講座を八女商工会館で開催した。講師はポーポリーほりえに依頼した。

(6) 視察研修会

経営者の講演を聴き、企業を視察し、自社の経営に活かすことを目的として、11月に開催する予定だったが、新型コロナウイルス感染症予防対策のため中止した。

(7) リスクマネジメントセミナー

企業が取るべきリスク対策やポイントを押さえることを目的として、筑後地区法人会5会との共同主催で、AIG損害保険株式会社との共催で6月22日オンラインで開催した。講師は社会労務士の大野ゆかり氏に依頼した。

(8) その他の研修会

新しい知識を身につけ、自社の経営に活かすことを目的として、6月3日に「経営セミナー」を開催した。講師は九州電力㈱八女営業所長の森山万里子氏に依頼した。また6月10日に八女商工会館で「社会人としての心構えセミナー」を開催した。講師は経営コンサルタントの林忠史氏に依頼した。2月3日に「年金問題セミナー」を開催した。講師は社会保険労務士の中尾恵介氏に依頼した。

⑤ 地域社会に貢献することを目的とする事業

(1) 献血活動

広く一般に呼びかけ、福岡県赤十字センターに協力することを目的として、八女ライオンズクラブ・黒木ライオンズクラブ・福岡県生コンクリート工業組合青年部との共催で、ゆめタウン八女（4月14日、11月10日の2回）、黒木町ふじの里（7月20日、11月18日、3月17日の3回）でそれぞれ開催した。

(2) 医療健康セミナー

正しい知識を学び、実際に身体を動かして、健康の自己管理を実践してもらうことを目的として、9月6日と7日に八女商工会館で開催した。6日はストレスとの向き合い方を座学で、7日は免疫力アップをテーマに実践形式で開催した。講師は健康管理士の小久保晴代氏に依頼した。

また、からだに優しい発酵食品を知ろうをテーマに、11月17日に「手作りみそ教室」を開催した。講師は福岡市の株式会社田島屋味噌醸造元へ依頼した。

(3) 地域のイベント参画

飲酒運転撲滅キャンペーンを目的として、9月に酒販組合八女支部と共催して八女市の祭会場で女性部会員が中心となってティッシュとうちわの配布をする予定だったが、新型コロナウイルス感染症予防対策のため中止した。

- (4)周年行事記念講演会  
公益社団化10周年を記念して記念講演会を6月7日におこなう八女で開催した。  
講師は前衆議院議員の東国原英夫氏に依頼した。

#### ⑥会員の福利厚生のための事業

- (1)経営者大型保障制度の普及推進  
会員である法人の福利厚生制度の充実と経営の安定、安心を目的として、公益財団法人全国法人会総連合の経営者大型保障制度の普及推進を図った。
- (2)ビジネスガードの普及推進  
会員である法人の福利厚生制度の充実と経営の安定、安心を目的として、公益財団法人全国法人会総連合のビジネスガードの普及推進を図った。
- (3)がん保険制度の普及推進  
会員である法人の福利厚生制度の充実と経営の安定、安心を目的として、公益財団法人全国法人会総連合のがん保険の普及推進を図った。
- (4)貸倒保障制度の普及推進  
会員である法人の福利厚生制度の充実と経営の安定、安心を目的として、一般社団法人福岡県法人会連合会の貸倒保障制度の普及推進を図った。

#### ⑦会員の交流を図るための事業

- (1)役員・委員会等懇談会  
会員の交流と相互の意思疎通を図ることを目的として、役員及び委員会等の懇談会を随時実施した。
- (2)青年部会・女性部会懇談会  
部会員の交流と相互の意思疎通を図ることを目的として、企業視察研修会や新年会、懇談会を企画し、開催した。

#### ⑧その他この法人の目的達成に必要な事業

- (1)会員拡大  
組織の健全な維持と財政基盤の再構築を図るため、11月に支部会議を開催し、会員増強に取り組んだ。

2022年度末 会員数・異動状況

会員数	726社
入会数	9社
退会数	15社

2022年度末 青年部会・女性部会 部会員数

青年部会員数	49名	女性部会員数	46名
入会数	7名	入会数	3名
退会数	0名	退会数	2名
卒業生	4名		

- (2)この法人の認知度の向上  
あらゆる機会を利用してこの法人の認知度向上に努めた。